

2023年8月1日～2024年2月29日の間に 当院4階および6階の集中治療室において治療を受けられた方及びご家族の方へ

「日本における集中治療室入院患者に対する早期離床の実態調査」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 理学療法士 佐藤宏樹
研究分担者 川崎医科大学 麻酔・集中治療医学 教授 戸田雄一郎
川崎医科大学 救急医学 教授 椎野泰和
川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 理学療法士 竹丸修央
川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 理学療法士 吉田耕治
川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 理学療法士 橋爪奏子
川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 理学療法士 高橋晶
川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 作業療法士 竹原脩一郎

1. 研究の概要

集中治療室では、医療技術の進歩によって病院での死亡率は減少している一方で、集中治療室を退出した後、重度かつ長期的な機能障害に苦しむ人が増加しています。このような障害は集中治療後症候群と呼ばれており、これを予防するためのリハビリテーションが注目されています。日本国内においてこの領域のリハビリテーションは普及し始めているものの、医療スタッフのマンパワーや技術的な問題によって、実施できていない施設も少なくはありません。そこで本研究では、この領域のリハビリテーションの普及状態を全国規模で調査し、その要因を明らかにすることを目的としています。

具体的には、以下に記載する情報を診療録から収集し、集中治療室でのリハビリテーションの実施率や患者さんの特徴、リハビリテーションが実施できなかった阻害因子を調査します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年8月1日～2024年2月29日の間に川崎医科大学附属病院および共同研究機関、研究協力機関で集中治療室での治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院および共同研究機関、研究協力機関において集中治療室で治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにリハビリテーションの実施状況や患者情報を選び、リハビリテーショ

の実施率や実施できなかった要因について調べます。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、家族歴、病歴、リハビリテーションの進行度、呼吸や循環などの全身状態、身体機能 等

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

杏林大学 松嶋真哉
杏林大学医学部附属病院 山田深
福井大学医学部附属病院 野々山忠芳
関西電力病院 松木良介
札幌医科大学附属病院 宮城島沙織
長崎大学病院 花田匡利
長崎大学 柳田頼英

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター
氏名：佐藤宏樹
電話：086-462-1111 内線 22830（平日：8時30分～17時00分）
ファックス：086-462-7897
E-mail：h0306@hp.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織 >

研究代表機関名 杏林大学保健学部リハビリテーション学科

研究代表責任者 杏林大学保健学部部リハビリテーション学科 松嶋真哉

共同研究機関

杏林大学医学部附属病院リハビリテーション部 山田深

福井大学医学部附属病院リハビリテーション部 野々山忠芳

関西電力病院リハビリテーション科 松木良介

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部 宮城島沙織

長崎大学病院リハビリテーション部 花田匡利

長崎大学生命医科学域 柳田頼英

協力機関 68 施設

(旭川赤十字病院, JA 北海道厚生連 帯広厚生病院, 北海道大学病院, 北見赤十字病院, 市立札幌病院, 秋田大学医学部附属病院, 地方独立行政法人市立秋田総合病院, 東海大学医学部附属病院, 聖マリアンナ医科大学病院, 練馬光が丘病院, 自治医科大学附属さいたま医療センター, 北里大学病院, 千葉大学医学部附属病院, 埼玉石心会病院, 聖路加国際病院, 横浜労災病院, 埼玉医科大学総合医療センター, 三井記念病院, 昭和大学藤が丘病院, 神奈川県立循環器呼吸器病センター, 日本大学病院, 福井循環器病院, 富山大学附属病院, 豊川市民病院, 金沢大学附属病院, 大垣市民病院, JA 愛知厚生連 海南病院, 石川県立中央病院, 国立病院機構静岡医療センター, 金沢医科大学病院, 朝日大学病院, 福井県立病院, 聖隷三方原病院, 聖隷浜松病院, 藤田医科大学病院, 静岡県立総合病院, 豊橋市民病院, 日本赤十字社和歌山医療センター, 大阪警察病院, 大阪市立総合医療センター, 和歌山県立医科大学附属病院, 奈良県立医科大学附属病院, 大阪医科薬科大学病院, 京都桂病院, 三重大学医学部附属病院, 岡山大学病院, 島根大学医学部附属病院, 中国労災病院, 鳥取県立中央病院, 倉敷中央病院, 松江赤十字病院, 川崎医科大学総合医療センター, 心臓病センター榊原病院, 徳島県立中央病院, 香川県立中央病院, 高知医療センター, 高知県立幡多けんみん病院, 香川大学医学部附属病院, 佐世保市総合医療センター, 琉球大学病院, 鹿児島大学病院, 社会医療法人敬愛会中頭病院, 佐賀大学医学部附属病院, 社会医療法人仁愛会浦添総合病院, 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館, 鹿児島市立病院, 国立病院機構長崎医療センター, 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター)

3. 資金と利益相反

本研究に関して、本施設では学内研究費を用いて行われます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。